

令和元年度 第9回運営委員会議事録

- 日時：令和2年2月20日（木） 14:00～16:30
- 場所：鶴ヶ島市市民活動推進センター
- 出席：鈴木勝行、宮崎弘子、浅井敬三、佐藤英人、木内勝司、山本悦男
- 議長：鈴木勝行
- 書記：宮崎弘子
- 資料：令和元年度 第9回運営委員会・議題、シンポジウムチラシ、シンポジウム開催要項
- 協議内容

1. 第24回 流域再生シンポジウムについて

日時：3月22日(日)12:30 開場、13:00 開始、16:30 終了

場所：国立女性教育会館 110 研修室

集合：11:00

1) チラシの確認

- ① 荒川上流河川事務所は報告者が未定
- ② 埼玉県の報告者は鈴木勝活氏（河川砂防課）に確定
- ③ 山本悦男氏は「もりんど代表」から「NPO法人荒川流域ネットワーク会員」にする。
- ④ 画像の出典を明記する。（JNN画像より）
- ⑤ 以上について、HP、FBを訂正する。

2) 活動報告①2019年度標識アユの遡上調査結果と台風19号による魚道周辺の河川環境変化について、金澤光氏45分、浅井敬三氏20分、時間厳守で発表をすること。

3) コロナウイルス対応について

3月から4月にかけて危険領域に入ることが危惧され、国の通達でも不要不急の集会自粛が要請されているので、2週間前には（3月10日頃）シンポジウムの実施可否をメールで相談の上、代表が決定する。「中止」の場合は案内送付者、メール送信者に連絡をする。また、HP、FBにこの旨を掲載する。（HP：佐藤、FB：宮崎）

4) 役割分担

（受付）山本実穂、宮崎

（司会）廣川

（マイク）山本実穂、大熊

（記録）宮崎

（パソコン）木内、佐藤

※プロジェクター、スクリーンは当日事務所に申し出て借用する。

2. 次年度の標識アユ放流調査について

- ・「矢来堰に魚道を設置の予定であったが、災害復旧を行うので、2020年度に魚道を設置することは不可能。2021年度に」と農林振興センターから通告あり。

- ・サイサン環境保全基金には都幾川も調査で申請しており、入間川のみでも可能かどうか、サイサン環境保全基金に相談をする。

3. 洪水後の魚道の環境変化と要請書について

各所によって状況が異なるので、時期を見計らって、各管理者に資料を持参の上相談に行く。

4. 来年度の水質調査について(来年度で開催第 25 回目)

大熊氏が「みずとみどりの研究会」と相談の結果、2020 年度から、次のように実施する。

- ①大熊氏が各団体の必要数をまとめて「みずとみどり研究会」に一括して連絡をする。
- ②試薬は各団体に「みずとみどり研究会」から直接送って頂く。
- ③調査データは荒川流域ネットワークで取りまとめて「みずとみどり研究会」に送る。
- ④EC メーターは各団体に寄贈して測定時に校正をしてもらう。校正液ならびに校正方法は書面ならびに口頭にて説明する。
- ⑤マップの作成は継続する。
 - ※当会としての総括を行う。
 - ※2020 年度武州入間 PJ 活動助成を申請する。(3 月 13 日締切り、担当：宮崎)

5. その他

武州入間川 PJ のアトレでの展示について

期間：3 月 2 日（月）～3 月 8 日（日）

場所：川越アトレ

(展示物作成) 鈴木、(搬入) 佐藤、(搬出) 宮崎

◆次回 令和元年度 第 10 回運営会議

日時：2020 年 3 月 22 日(日)17：00～ (シンポジウム終了後)

場所：国立女性教育会館（嵐山町）